

奥薩摩のホタル舟

5月12日(金)、奥薩摩のホタル舟が運航を開始しました。期間は28日までの17日間。今年で5回目の開催となりましたが、県内はもとより、全国各地から多くの乗船客を迎えました。

乗船客は、竹の中から幻想的な明かりを照らすアトチをくぐり舟に乗り込みます。舟は静かにたたずむ川内川をゆっくりと進み、静寂した真つ暗な兩岸では無数のホタルが淡い光を放ち乱舞します。その光はまた水面に反射し、神秘的な場面を演出させます。約40分の運航は時が経つのも忘れ、心が和み、穏やかな気分になさせてくれます。

4月半ば頃になると全国各地からホタル舟を待ち望み、予約受付が始まると初日ではほぼ満席状態となります。各地から多くの人たちが待ち望むホタル舟は、奥薩摩のホタルを守る会のスタッフの絶え間ない努力の成果と言えるでしょう。

全てが手作りの竹のアーチや灯ろうなどは昨年の11月頃から準備に取りかかり、毎年新しいアイデアで工夫を凝らし作成されています。また、乗船場行きバスに乗り込んだ乗船客をスタッフ全員で見送るなど、スタッフの歓迎の気持ちが伝わってきます。

毎年、ホタル舟を待ち望む多くの乗船客は、神秘的なホタルの乱舞とスタッフの温かなもてなしに誘われて来られるのでしょうか。



さつま町春まつり

5月5日、北薩広域公園で「第1回子供の日さつま町春まつり」が開催されました。

晴天にも恵まれ、多くの親子連れの来園があり、ミニSL無料試乗会、ふわふわ、竹細工体験、ピエロのシャポーステージショーなどが行われました。ちびっこうなぎつかみどり大会では子供たちの大きな歓声が響いていました。また会場では、みやんじよ五ツ太鼓共演会や地元農産物販売コーナー、フリーマーケットも行われ、ちくりん大鍋無料試食会コーナーや北薩造園業協会の協力をいただいた「無料花苗配付コーナー」では長蛇の列ができるなど、一日中にぎわっていました。

